まちの話題

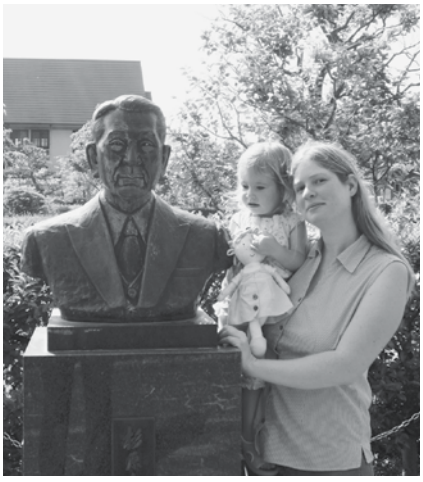
アメリカより感謝を込めて

故杉原千畝氏の発給したビザに助けられた、アメリカ・フロリダ州に住むアナ・ミローさんから、2,880ドル(約26万円)が送られてきました。

この寄附は、今年の5月20日に、アナ・ミローさんの孫マヤ・ドゥーニエツさんとその娘のナディア・ドゥーニエツさんが杉原千畝記念館に訪れたことを機に、アナ・ミローさんが寄附を思い立ったものです。

2,880ドルという数字は180ドルに杉原千畝氏が発給したビザによって助けられた家族(脱出後生まれた人も含む)16人をかけたものです。また180ドルにも意味があり、18という数字は10と8を足したものですが、ヘブライ語で10と8をならべて読む発音が、「命」を意味する言葉の発音と同じとなるため、180ドルになったということです。

この寄付金は「杉原千畝記念基金」に積み立てられ、杉原千畝記念館の運営に役立てられます。



記念館を訪れたマヤ・ドゥーニエツさん(右)とナディア・ドゥーニエツちゃん(左)

JET 八百津ツアー

めい想の森での昼食の様子

9月6日、岐阜県在住のJET※で来日した外国人23名が、八百津町内の名所を訪ねる「JET 八百津ツアー」(八百津町国際交流協会主催)が開催されました。

この事業は、外国人に対して八百津町の魅力を紹介し、杉原千畝記念館を見学することで「人道の町 八百津町」をアピールするため計画したものです。

一行は五宝の滝散策やめい想の森での昼食とウォーキングを楽しんだ後、杉原千畝記念館を見学。また、記念館に隣接の山荘で、八百津せんべいを食べながら、八百津町の観光と産業のVTRなどを視聴しました。

※JETとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称

旧八百津発電所を清掃 関西電力と八百津町

9月7日、関西電力株式会社今渡電力システムセンター(可児市　所長 山田 勝)の社員7人と八百津町職員15人が、国の重要文化財の指定を受けている旧八百津発電所で清掃作業を行いました。

同今渡電力システムセンター課長の安藤正明さんが、「町職員のみなさんと協力してがんばって清掃してください」とあいさつ。参加者は、竹ぼうきではいたり、モップをかけたりして施設内をきれいにしたほか、展示品や展示ケース、建物の窓を拭き上げました。

発電機をきれいに拭き上げました